

登録コード	E2541900	開講年度	2026				
授業科目	デザイン実習				担当教員	石川 義宗	
英文授業名	Practice of Design				副担当	大島 賢一・猪瀬 昌延	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限～5時限前半	対象学生	2年生
講義室	教育N108		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術教育に必要なデザインの分析調査、企画立案を授業で展開できるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				美術教育に必要なデザインの知識、技能、思考力等を授業で展開できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	デザインの企画を通じて長野県の伝統文化の魅力について考え、それに必要な知識や伝統を大切にする公共的使命感を養う。また、作品制作によってデザインの技能を培うとともに、共同的に作業を進めるための協調性や計画性を身につける。						
(5)授業計画	第1回:ガイダンス(授業の目標、計画を共有する) 第2回:企画1(地域の特産品について学び、その魅力を理解する) 第3回:企画2(チームで企画を話し合う) 第4回:企画3(企画書の作成を始める) 第5回:企画4(企画書の作成を終える) 第6回:デザイン1(アイデアスケッチでデザインを考える) 第7回:デザイン2(ソフトでデザインのデータを制作する) 第8回:デザイン3(最終案を決める) 第9回:デザイン4(ソフトでデザインの完成見本を作る) 第10回:制作1(制作方法とスケジュールの検討を行う) 第11回:制作2(試作品の制作を始める) 第12回:制作3(試作品の制作を続ける) 第13回:制作4(試作品の制作を終える) 第14回:プレゼンテーション(授業アンケートを含む)						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は次の通りである。 ・授業の達成目標に関わる課題:80点() ・授業の取り組み状況:20点 課題点については課題の要件に沿って授業内では100点満点で評価する。成績判定時に課題点の平均を80点満点(0.8を掛ける)に変換する。						
(7)成績評価の基準	授業で示した課題の要件を概ね満たしていれば「合格の水準にある」とし、課題の要件を全て満たしていれば「やや上にある」とし、全ての要件に加えて工夫があれば「かなり上にある」とし、全ての要件に加え 工夫をこらし高度に完成していれば「卓越している」とする。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	課題を決められた期限まで提出できるように復習と作業を行う。						
(9)履修上の注意	・道具代、材料費、印刷費が必要になる。 ・受講生の進捗状況によって内容、および、課題を調整することがある。 ・課題は期限後に受け付けることはできないが、期限内であれば再提出を認める。なお、課題の要件の7割に満たないものは提出として認めない。 ・教育実習による補講は講義資料(オンデマンド)によって行う。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	yoshimiune-ishikawa@nagano.ac.jp						
【教科書】	なし						
【参考文献】	なし						